



<0歳から100歳の方まで、みんなが先生です！>

「昨日何してた?」「風にあおられる」「明日は寒いらしく」

聞こえる人にとってはごく普通の日本語も、聞こえない人が同じように習得するのは容易なことではありません。筑波大学付属聴覚特別支援学校のある教諭は、子供達の表現力を高める方法として天気予報の活用を訴え実践しておられます。

教室で天気予報のフレーズを学んだ後に、皆で外に出ます。そこには雲ひとつない透明感あふれる青空が広がっています。

(先生) 雲は見えますか? (児童) 見えない。(先生) どんな空? (児童) 晴れてる! (先生) こういのが邪魔するものがないくらい、抜けるような青空なの。(みんなで) ぬけるような青空!



※この欄は、NHK-Eテレの番組「ろうを生きる 難聴を生きる」から『どう育む? 日本語力(2) 表現力を高める』の放映を参考にしました。

今、ふれあいの村では・・・

今の季節、村内を歩くとたくさん種類のキノコを見つけることが出来ます。キノコは、その名前の通り木と密接な関係を持っています。木の根とキノコの地中に続く菌糸とは、土の中で共生関係とでもいうような世界を築いています。植物や動物の生物界では食物連鎖が行われていて、そこにはキノコ(菌類)が大きく関わっています。動植物の死骸をキノコなどの菌類が分解し、栄養豊富な土壌にすることで、再び植物の芽を出すことを可能にする役割を担っています。



ノボリリュウタケ



キヒダタケ



ナギナタタケ



フクロツチガキ

足柄自然観察会 10月2日 10:00~12:00

テーマ: キノコ(植樹祭跡地)、アキアカネ、ヒガンバナ
木の实、草の实。秋の花、ヤブタバコ咲く

※7ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催
※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村 (南足柄市広町 1507)
指定管理者: 足柄グリーンサービス・関東学院グループ
所管課: 神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

電話: 0465-72-2010 FAX: 0465-72-2013
URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>

森の中に不思議なポストが・

最近、村内にポストが三基設置されました。

その上部に、「みなさんのねがい や おもい をかいていれて みてください。てがみは『もりのようせい』にとどいてしっかりと うけとめてくれるでしょう」とあります。そして、「ゆうびんきょくには とどきません」と書かれています。

内容は何でもいいのです。もうすでにたくさんの手紙が書かれ、妖精の元に届けられています。

村では、犬猫の入村をお断りしていますが、入口付近で近頃よく見かける白い猫がいます。気のせいか後光がさして見えます。妖精の化身なの？



※ポストの設置場所は、村内のどこかです。探してくださいね。

★フィールドワーク★

自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

春の半ばに「冬ごりの虫が這い出る日」とされる『啓蟄』があります。二十四節季の第3の二月節の頃で、今年は3月5日がその日にあたりました。さて、いつも思っていました。「出てくる日があるなら、いつ入るの？」と。その疑問は、一年を二十四に分けた二十四節季をさらに三等分した『七十二候』を見て解決しました。二十四節季は立春にはじまり、春分、夏至、秋分、冬至という四つの季節のピークを過ぎて、大寒で一年を締めくくります。一年を二十四に分けた二十四節季をさらに三等分したものが『七十二候』です。古い時代に人々は半年を一区切りとして、いろいろな習俗を行っていたそうです。「春の啓蟄」と対をなすのは、『蟄虫戸を坏す(すごりのむしをとどす)の候』で9月28日から10月2日くらいまでの間です。

※この欄は、文春文庫「旬を楽しむ 日めり七十二候」(白井明大著)を参考にしました。



エサキモンキツノカメムシ



アオバハゴロモ



クロマルハナバチ



アカサシガメ(カメムシの仲間)



ツマグロオオヨコバイ



ジョ(ウ)ロウグモ



ヤマトシジミ